



ポータン号

はこだて幕・開港マツプ。

函館開港150周年記念連携事業



明治15年頃の函館

はこだて開港ペリーロード

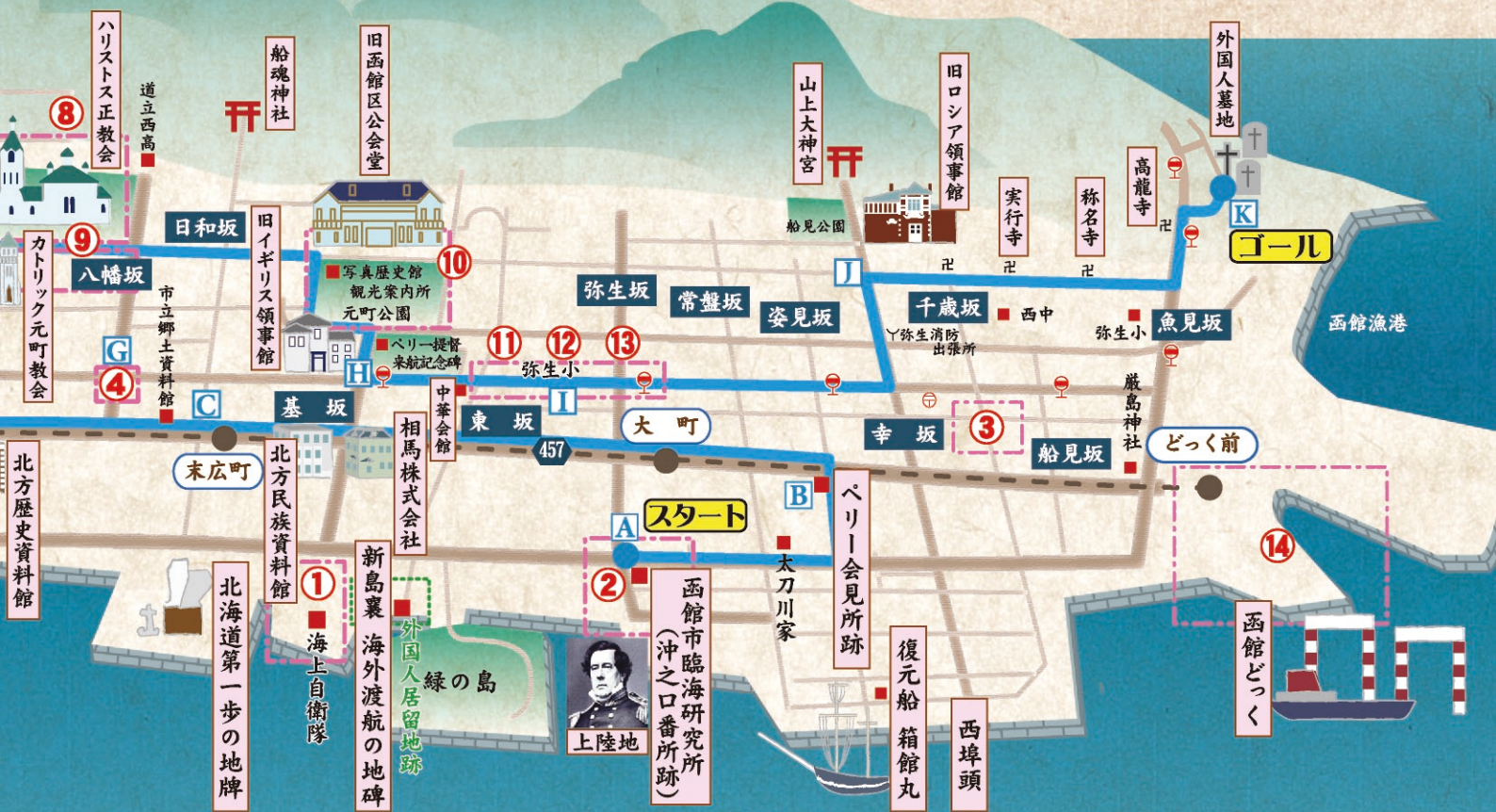


安政元年(1854)幕府はアメリカとの間に和親条約を締結し下田と箱館を開港(箱館に於ける小開港)することになった。

条約上、箱館の開港は翌年3月であったが、4月15日ペリー艦隊の船3艘が箱館に来航し港内の測量を始めた。更に同月21日には2艘(ポータン号、ミシシッピー号)が入港した。ポータン号に乗船していたのがペルリ(ペルリとはオランダ発音)こと東インド艦隊司令長官マシュー・カルブレイス・ペリーである。その時の様子は「亜墨利加一条写」に記されており士官たちが

箱館に上陸後散策したルートがペリーロードの由来である。

一行は上陸地である沖之口番所の近辺で開かれた特設市場で競って箱館土産を購入したという。また、外国人墓地はペリー艦隊の水兵2名が滞在中に死亡し埋葬されたのが始まりである。安政五年6月には、修好通商条約が締結され箱館と新潟、横浜、神戸、長崎を貿易港として開港することになった。箱館の開港は翌年6月2日(新暦7月1日、箱館に於ける大開港)で、この日が後に開港記念日とされた。



現在の地図の番号を見ながら函館歴史散歩はいかが？



開港間もない頃の函館 文久二年(1862)箱館真景絵図

- ① 運上所、1859年の貿易港としての開港により最初はペリーとの会見が行われた山田寿兵衛宅に置かれた税関
- ② 沖之口番所、当時の海からの玄関口
- ③ 高龍寺、実行寺と共に1858年ロシア領事一行の仮止宿所になった
- ④ 八幡社、現在の函館八幡宮
- ⑤ 南部陣屋、北方防備のため幕府の命令により箱館に派遣された南部藩の詰所(南部坂の由来)
- ⑥ アメリカ人の建物
- ⑦ ロシア病院、函館の住民に人気があった
- ⑧ ロシア領事館
- ⑨ イギリス領事館
- ⑩ 箱館奉行所、後に五稜郭へ移る
- ⑪ 浄玄寺、1857年アメリカ貿易事務官ライスの仮止宿所(現在の東本願寺函館別院)
- ⑫ 称名寺、1859年イギリス領事館として貸与(イギリス領事はフランス領事も兼ねた)
- ⑬ 実行寺、1854年ペリー来航時写真班の止宿所、1858年ロシア領事一行の仮止宿所
- ⑭ 弁天崎御台場、北方防備のために造られた砲台

函館の各国領事・領事館

アメリカ※	...	{ 1857～1882 1904～1919
ロシア※	...	{ 1858～1904 1906～1938 1939～1944
イギリス	...	1859～1934
フランス	...	1859～1874
ポルトガル	...	1861～1888
オランダ	...	1863～1875
スイス	...	1865～1875
ドイツ	...	1865～1876
デンマーク	...	1867～1889
オーストリア	...	1869～1911
イタリア	...	1869～1875
ノルウェー	...	1871～1921
スウェーデン	...	1871～1921
中国	...	1886～1938

※アメリカ…1882年(明治15年)9月、函館在留のデビソン領事が任期を終え帰国、アメリカ人宣教師が事務を取り扱った。1904年(明治37年)キング代弁領事が就任し事務を開始した。1919(大正8年)7月キング氏の死去により閉鎖。

※ロシア…1904年2月日露戦争により日本国内の領事が引き揚げらる。1906年5月領事が着任し現在の旧ロシア領事館の地で領事館を開いた。1944年(昭和19年)10月ソ連領事館閉鎖。

資料/市立函館博物館所蔵各国領事領事館・函館市史年表

はこだて一番物語

コーヒー飲みはじめ

安政四年(1857)病氣予防などの目的で箱館奉行から配られたのが北海道で最初の出来事

西洋帆船建造

船大工の続豊治が函館に入港する外国船をもとに設計し安政四年に完成した箱館丸が日本人だけで初めて造られた西洋帆船で、日本初の実習船

西洋料理店

外国人向けに安政六年に開業した料理店が日本最古のレストラン

赤十字活動

明治元年(1868)の箱館戦争で負傷兵を分け隔てなく治療した箱館病院長、高松凌雲こそ日本で最初に赤十字精神を実践した人

気象観測所

函館出張開拓支庁は明治五年7月開拓使の福士成豊(父は続豊治)の自宅に観測所設置を認め1日3回の観測を始めた。これが国の機関として日本で最初の観測所。

海水浴場

明治十二年に現在の水産物卸売市場付近で皮膚病などの治療目的で日本で最初の海水浴場が設置された。

上水道

明治二十二年、日本人設計監督による日本で最初の上水道が造られた。(函館公園には、その記念に寄贈された噴水のレプリカがある)日本で最初の上水道は2年前に造られた横浜

世界初!?有料自動車道

大正七年(1918)湯の川から宇賀浦町の間の道を整備し湯の川温泉への乗合いバス事業を始めた会社があったが、他の車が利用する際は料金を徴収していたそうだ。

〈発行〉 函館ホテル旅館協同組合

組合公式サイト <http://www.hotweb.or.jp/ryokan/>

函館市東雲町15番15号 TEL. 0138-22-2942 FAX. 0138-26-5208